C16

赤外域同調可能InSb SFR レーザの広帯域化 Extension of the Tunable Wavelength Region of an Infrared InSb SFR Laser

松下直樹, 森上浩, 笠田洋文, 宮崎和彦 (Naoki Matsushita, Hiroshi Morikami, Hirofumi Kasada, Kazuhiko Miyazaki) ·鳥取大学 ('Tottori University, Tottori)

SYNOPSIS: Emission wavelength of an InSb SFR laser continuously tunable in the infrared region could be extended to 11.3-16.2 μ m, when the several lines of CO₂ and NH₃ laser were selected as a pumping source, showing that the output power of the above InSb SFR laser could be high through the whole wavelength tunable range of about 270 cm⁻¹ by using a single device i.e. only one InSb specimen.

我々は、重金属の同位体分離や分光学,計測等の分野への応用を考えて、高性能同調可能レーザ であるInSb SFR (Spin-Flip Raman)レーザの広帯域化に関する研究を行ってきた。 励起光 には、TEA CO2レーザ及び赤外域NH3レーザの10~14μm域発振線13本を用い、印加磁 界を前者の場合2~5T、後者の場合2~8Tまで変えて、InSb SFRレーザの波長同調可能 範囲の測定を行った。

Fig. 1に励起光として赤外域NH₃レーザにおけるaP(8, 6), aP(9, 6), aP(10, 6), aP(10, 9)の発振線を用いた場合の磁界-波長特性を示す。この図の示すよう に、励起光波長と磁界を選択することによりInSb SFRレーザの発振波長を精密にまた連続的 に制御できる。Table 1に励起光として用いた13本の各発振線における同調可能範囲を示す。 全体として11. 1~16. 4 μ mの同調可能範囲を得た。

Figs. 2, 3に励起光として赤外域NH₃レーザにおける a P(10, 9)及び a P(8, 6) の発振線を用いた場合の磁界-出力特性を示す。Fig. 2の示すように、InSb SFRレーザ は磁界によって発振出力も変化する。ここで、出力の小さい部分を除き、最大出力の50%以上の 高出力範囲を取り出すと15. 8~16. 2μmとなる。その他の発振線についても同様に高出力 範囲を取り出すと、

全体として11. 3~13. 8µm

13. $9 \sim 14.4 \mu$ m

14. $6 \sim 16.2 \,\mu$ m

の同調可能な高出力範囲を得た。なお、13.8~13.9μm,14.4~14.6μmの低出 力部分は、本実験においては使用していないが、赤外域NH₃レーザのaP(7,2)発振線(12. 53μm)を励起光に選択することにより補うことができると思われる。

これらのことを考慮して、 InSb SFRレーザの同調可能な高出力範囲を図に示すとFig. 4のようになる。 破線はaP(7, 2)線を励起光に選択した場合の予想される同調可能な高出力 範囲を示す。 結果として、Fig. 4に示した10~14µm域発振線12本を励起光として選択 することにより、11. 3~16. 2µmの全波長域を同調可能な高出力発振線ばかりでつなぐこ とができ、これにより重金属の同位体分離、計測等の分野への応用が期待できる。

71

励起光波長	同調可能範囲
$\begin{array}{c} 10P(22) \ , 10. \ 61\mu\ m\\ 10P(36) \ , 10. \ 76\mu\ m\\ aQ(3,3) \ , 10. \ 75\mu\ m\\ aQ(5,5) \ , 10. \ 76\mu\ m\\ sP(3,0) \ , 11. \ 00\mu\ m\\ aP(2,0) \ , 11. \ 21\mu\ m\\ aP(5,3) \ , 12. \ 01\mu\ m\\ aP(5,3) \ , 12. \ 01\mu\ m\\ aP(6,0) \ , 12. \ 25\mu\ m\\ aP(7,6) \ , 12. \ 69\mu\ m\\ aP(8,6) \ , 12. \ 97\mu\ m\\ aP(9,6) \ , 13. \ 27\mu\ m\\ aP(10,6), \ 13. \ 57\mu\ m\\ \end{array}$	11. $1 \sim 11.7 \mu$ m 11. $4 \sim 11.9 \mu$ m 11. $4 \sim 12.7 \mu$ m 11. $5 \sim 12.6 \mu$ m 11. $7 \sim 13.0 \mu$ m 11. $9 \sim 13.3 \mu$ m 12. $9 \sim 14.5 \mu$ m 13. $1 \sim 14.8 \mu$ m 13. $5 \sim 15.4 \mu$ m 14. $0 \sim 15.7 \mu$ m 14. $3 \sim 16.0 \mu$ m 14. $8 \sim 16.2 \mu$ m
aP(10, 9), 13.82 μ m	15. 2 \sim 16. 4 μ m

Table 1 Emission Wavelengths of InSb SFR Laser Pumped with TEA CO₂ Laser and Infrared NH₃ Laser.



Fig. 1 Emission Wavelengths of InSb SFR Laser Pumped with 13-14 μm Infrared NH₃ Laser as a Function of Magnetic Field.







Fig. 3 Relative Output of InSb SFR Laser Pumped with aP(8,6) Line of Infrared NH₃ Laser as a Function of Magnetic Field.



